事例No.	1449
公表年度	R3
団体の属性	指定都市
団体名	岡山県岡山市

事例区分	一般行政

タグ	・公共施設活用 ・新たな政策手法の確立・活用 ・税財政

事例種類	木材利用・普及啓発

事例内容・タイトル

公共施設の木質化・木材普及啓発活動の実施

出典

森林環境譲与税の令和２年度取組事例集（令和３年１２月）

岡山県　岡山市（公共施設の木質化・木材普及啓発活動の実施）

➢ 岡山市では、森林環境譲与税の創設を契機に、木材利用を通じて住民に森林整備への理解の醸成に取り組んでいく方針。
➢ 令和２年度においては、以下の取組により、公共施設の木造化・木質化を行った。
  • 岡山県産材を一部活用し、放課後児童クラブの木造化・木質化を行った。
  • 市立高校生を対象に、岡山県産の木材を供給しベンチ等を制作し、市立小学校へ寄贈した。
➢ 令和３年度においても、引き続き木造化・木質化を行う施設の増加を図る予定。

□　事業内容

1　公共施設等の木造化・木質化事業

• 岡山県産材を一部活用し、放課後児童クラブの木造化・木質化を実施。

【事　業　費】207,302千円（うち譲与税3,186千円）
※譲与税は木工事費分に充当

【実　　績】２件、木材使用量127.6㎥（うち県産材使用量30.38㎥）




（公共施設木造化・木質化の様子）

2　木材普及啓発活動事業

• 市立高校に岡山県産木材を供給し、高校生が授業の一環としてベンチ等を制作し、出来上がった作品を小学校や幼稚園に寄贈する。

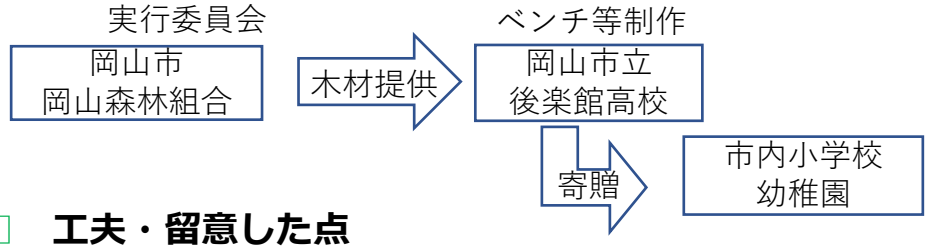
【事　業　費】200千円（全額譲与税）　【実　　績】参加者25人




（ベンチ制作の様子）

□　事業スキーム

2　木材普及啓発活動事業



□　工夫・留意した点

• １の事業は、子供が集まる施設を優先して補助することで、親子共に木質化の良さを経験してもらい、事業の効果が高まるように配慮した。
• ２の事業は、授業を通して木材利用の意義について理解を深めてもらうと共に、自ら地産木材を使うことで親近感が増し、より理解が深めるよう配慮した。

◇　基礎データ

①令和２年度譲与額	75,078千円
②私有林人工林面積（※１）	3,274ha
③林野率（※２）	45%
④人口（※３）	719,474人
⑤林業就業者数（※３）	89人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、
※２：「2015農林業センサス」より、※３：「H27年国勢調査」より